


ON YOUR SIDE REPORT 2020.9

 京都中央信用金庫



京都中央信用金庫の現況 2020年度上半期(2020年4月1日から9月30日)における経営情報を開示いたします

みなさまと共に、
輝かしい未来へ向かって

理事長
白波瀬 誠



平素は京都中央信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

この度、当金庫の経営内容や事業活動をより一層ご理解いただくため、2020年度上半期のディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

当金庫の2020年9月期の業績は、みなさまのお力添えにより、預金積金が5兆693億円、貸出金が2兆9,166億円を超え、当期純利益49億円を確保することができました。

おかげさまで当金庫は創立80周年を迎えた本年9月の預金残高が、信用金庫で初めて5兆円を突破いたしました。ご支援をいただいております地域のみなさまに感謝いたしますとともに心より深くお礼申し上げます。

これからもみなさまと共に輝かしい未来へ向かって役職員一同努力する所存でございますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

TOPICS

◆ 創立80周年記念の年史を発刊しました

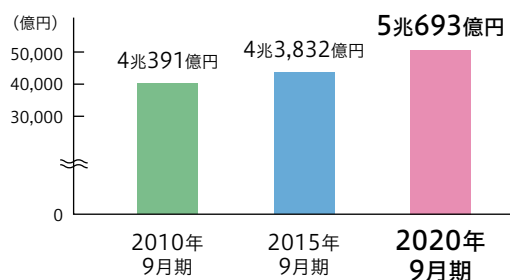
当金庫は創立80周年を記念し、年史「京都中央信用金庫80年の歩み」と「DVD」を発刊しました。



◆ 預金残高5兆円を突破

創立80周年を迎えた本年2020年9月30日の預金残高が5兆693億円となり、信用金庫業界で初めて5兆円を突破しました。ご支援をいただいております地域のみなさまに心より深くお礼申し上げます。

これからも、地域の皆さまの発展・繁栄に貢献できるよう努力を重ねてまいります。



地域社会の発展のために

◆ 新型コロナウイルス感染症対応融資取扱開始

新型コロナウイルス感染症による影響を受けている法人および個人事業主の皆さまに対し、必要なお資金の支援に努めています。

2020年9月末現在、新型コロナウイルス関連融資は、取組開始以来11,505件・2,689億円のご融資の取組みを行っています。

新型コロナウイルス感染症対応融資
取組件数・金額

取組件数	取組金額
11,505件	2,689億円

◆ 新型コロナウイルス感染症 寄附金型定期預金「ファイト」販売開始

本年9月、新型コロナウイルス感染症寄附金型定期預金「ファイト」の販売を開始しました。本定期預金をお預け入れいただくことにより、地域のみなさまを最前線で支えていただいている医療従事者への感謝を込め、お預け入れいただいた額に応じた寄附金を京都府・京都市を通じて医療機関に寄附します。



◆ 小嶋悠司展オンライン展示実施

新型コロナウイルス感染症の影響で中信美術館が臨時休館となったため、5月27日～8月10日の期間、中信美術館のホームページで小嶋悠司展の様子をオンライン展示にて公開しました。



さまざまなビジネスシーンで 地元企業をサポート



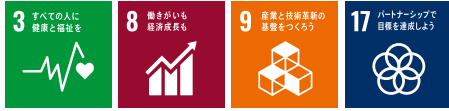
ソーシャルビジネス支援で日本政策金融公庫と連携

高齢者や障がい者の介護・福祉、子育て支援、まちづくり、環境保護、地域活性化など、地域や社会が抱える課題の解決をビジネスの手法を用いて取り組む「ソーシャルビジネス」の支援において日本政策金融公庫と協調し、『中信SDGs ソーシャルビジネスローン』の取扱いを開始しました。


京都中央信用金庫 ×
 
日本政策金融公庫
国民生活事業

2020年度 SDGsの主な取組状況

当金庫は、2019年2月に「SDGs方針」を制定し、SDGsの達成に尽力することを宣言しました。地域金融機関としてのさまざまな活動、お客さまや地域へのご支援を通じてSDGsに貢献し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



地域産業の育成・発展の支援

- ▶「新型コロナウイルス感染症緊急対策資金」取扱開始
- ▶「中信SDGsソーシャルビジネスローン」取扱開始
- ▶「近畿中部広域復興支援ファンド」への出資
- ▶「Withコロナ対策 支援施策」活用サポート、緊急WEBセミナー実施
- ▶「滋賀大学と地方創生に関する包括的連携協定」締結～お客さま一人ひとりのライフサイクルに合った商品・サービス提供に向けデータサイエンス活用～
- ▶「経営者保証不要 事業承継特別保証制度」連携活用
- ▶「事業承継M&Aプラットフォーム ビズリーチ・サクシード」連携



滋賀大学連携協定



地域の豊かなまちづくりの支援

- ▶「新型コロナウイルス感染症 寄附金型定期預金“ファイト”」取扱開始
- ▶地域創生にかかる自治体等との連携
- ▶社会的に養護を必要とする子どもたちへの支援（京都市・京都市）
- ▶お客さまの資産を守るサイバーセキュリティ態勢強化～インターネットバンキング不正送金等、サイバー犯罪対策～
- ▶サステナビリティ債、ソーシャルボンドへの投資
- ▶(公財) 中信美術奨励基金「第33回京都美術文化賞」受賞者決定～近藤高弘/陶芸、山本茜/截金ガラス、宮永愛子/現代美術～



京都美術文化賞 贈呈式



多様な人材の育成

- ▶リーダー育成プロジェクト始動
- ▶CISマイスター養成
- ▶自宅学習システム「DCAM」導入
- ▶テレビ配信システム「Live On」導入
- ▶SDGs賞表彰
- ▶SDGs研修実施(動画配信)
- ▶(公財) 中信育英会 全奨学生に「コロナ緊急支援金一律5万円」支給



CISマイスター研修



環境負荷軽減への対応

- ▶ISO認証・環境マネジメントシステム運用
- ▶環境配慮型店舗導入
- ▶エコオフィス対応 事務センター全面LED化
- ▶ライトダウン・リフレッシュDay実施
- ▶「びわ湖の日」清掃活動参加
- ▶ペーパーレス化推進
- ▶グリーンボンドへの投資



本店ビルエントランスSDGsディスプレイ

預金・貸出金の状況

預金積金については、個人預金、法人預金が順調に推移した結果、2020年9月期の残高は、前年同期比3,391億円増加し、5兆693億円となりました。

また、貸出金については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客様への積極的な資金供給に努めた結果、2020年9月期の残高は、前年同期比2,236億円増加し、2兆9,166億円となりました。

(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年9月期	増減
預金積金残高	4,730,230	5,069,344	339,113
貸出金残高	2,693,020	2,916,635	223,614

●貸出金の業種別内訳

(単位：百万円)

	2019年9月期		2020年9月期	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	127,120	4.72%	150,304	5.15%
農業、林業	684	0.02%	1,128	0.03%
鉱業、採石業、砂利採取業	1,393	0.05%	1,656	0.05%
建設業	107,641	3.99%	150,154	5.14%
電気・ガス・熱供給・水道業	797	0.02%	953	0.03%
情報通信業	5,394	0.20%	7,673	0.26%
運輸業、郵便業	27,213	1.01%	35,481	1.21%
卸売業	77,843	2.89%	95,959	3.29%
小売業	50,039	1.85%	65,946	2.26%
金融業、保険業	110,703	4.11%	122,423	4.19%
不動産業	576,618	21.41%	619,839	21.25%
物品賃貸業	3,643	0.13%	2,922	0.10%
学術研究、専門・技術サービス業	7,936	0.29%	11,767	0.40%
宿泊業	15,478	0.57%	20,202	0.69%
飲食業	25,356	0.94%	40,665	1.39%
生活関連サービス業、娯楽業	45,115	1.67%	50,486	1.73%
教育、学習支援業	13,139	0.48%	15,813	0.54%
医療、福祉	60,342	2.24%	67,277	2.30%
その他のサービス	53,976	2.00%	67,013	2.29%
小計	1,310,439	48.66%	1,527,669	52.37%
地方公共団体	159,098	5.90%	168,772	5.78%
個人(住宅・消費・納税資金等)	1,223,482	45.43%	1,220,192	41.83%
合計	2,693,020	100.00%	2,916,635	100.00%

(注)1. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

2. 国外向けの貸出については、国内向けの貸出と同様に区分し、該当する業種に含めております。

貸借対照表

(単位：百万円)

(資産の部)	2019年9月30日現在	2020年9月30日現在	増減
現金・預け金	1,311,359	1,476,354	164,995
コールローン	512	531	19
買入金銭債権	2,120	3,013	893
金銭の信託	13,011	10,093	△ 2,918
商品有価証券	1,325	1,172	△ 153
有価証券	1,576,325	1,664,506	88,180
貸出金	2,693,020	2,916,635	223,614
外国為替	643	15,686	15,043
その他資産	26,152	25,532	△ 620
有形固定資産	54,791	53,299	△ 1,492
無形固定資産	2,789	3,314	525
繰延税金資産	-	2,174	2,174
債務保証見返	3,499	2,686	△ 813
貸倒引当金 (うち個別貸倒引当金)	△ 12,324 (△ 7,879)	△ 12,902 (△ 7,993)	△ 577 (△ 114)
資産の部合計	5,673,227	6,162,098	488,870

(単位：百万円)

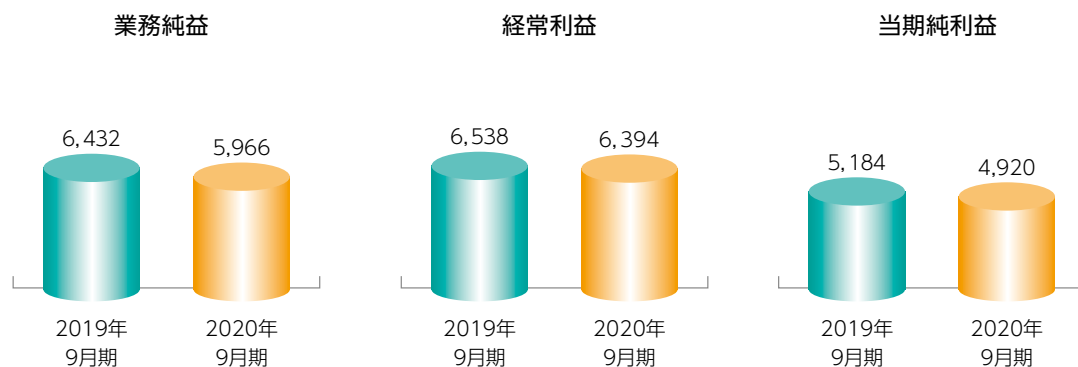
(負債の部)	2019年9月30日現在	2020年9月30日現在	増減
預金積金	4,730,230	5,069,344	339,113
借入金	404,083	500,966	96,883
コールマネー	50,722	8,199	△ 42,522
債券貸借取引受入担保金	160,012	261,471	101,458
外国為替	64	88	23
その他負債	14,040	10,460	△ 3,580
賞与引当金	687	681	△ 5
退職給付引当金	11,007	11,261	254
役員退職慰労引当金	703	474	△ 229
預金払戻損失引当金	336	348	12
偶発損失引当金	403	268	△ 135
懸賞金支払引当金	94	75	△ 19
繰延税金負債	1,022	-	△ 1,022
再評価に係る繰延税金負債	4,853	4,723	△ 130
債務保証	3,499	2,686	△ 813
負債の部合計	5,381,763	5,871,050	489,287
(純資産の部)			
出資金	20,421	20,211	△ 209
利益剰余金	237,151	246,153	9,001
会員勘定合計	257,573	266,365	8,791
その他有価証券評価差額金	26,811	17,604	△ 9,207
繰延ヘッジ損益	△ 966	△ 623	342
土地再評価差額金	8,045	7,701	△ 343
評価・換算差額等合計	33,891	24,683	△ 9,208
純資産の部合計	291,464	291,048	△ 416
負債及び純資産の部合計	5,673,227	6,162,098	488,870

損益の状況

2020年9月期の業務純益は、資金収支は増加したものの、その他業務収益が減少したこと等から、前年同期比4億円減少し、59億円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比1億円減少の63億円となり、当期純利益は前年同期比2億円減少し、49億円となりました。

(単位：百万円)



損益計算書

(単位：百万円)

	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	増減
経常収益	35,305	31,650	△ 3,655
資金運用収益	27,913	25,723	△ 2,190
うち貸出金利息	16,562	16,572	9
うち有価証券利息配当金	7,658	7,232	△ 425
役務取引等収益	3,354	3,230	△ 124
その他業務収益	3,028	1,298	△ 1,730
その他経常収益	1,008	1,397	389
経常費用	28,766	25,255	△ 3,511
資金調達費用	4,223	1,571	△ 2,651
うち預金利息	3,206	1,253	△ 1,953
役務取引等費用	3,265	3,251	△ 14
その他業務費用	2,160	1,140	△ 1,019
経費	18,216	17,703	△ 512
その他経常費用	901	1,588	686
経常利益	6,538	6,394	△ 144
特別利益	8	0	△ 7
特別損失	8	114	106
税引前当期純利益	6,539	6,280	△ 258
法人税、住民税及び事業税	1,426	1,313	△ 113
法人税等調整額	△ 72	47	119
法人税等合計	1,354	1,360	6
当期純利益	5,184	4,920	△ 264

有価証券の状況

●売買目的有価証券

(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年9月期	増減
当期損益に含まれた評価差額	11	2	△ 9

●満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種類	2019年9月期			2020年9月期		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社債	10,475	10,843	367	7,910	8,131	221
	その他	10	11	0	7	8	0
	小計	10,486	10,854	368	7,917	8,140	222
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	2,640	2,626	△ 13
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	2,640	2,626	△ 13
合計	10,486	10,854	368	10,558	10,766	208	

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

●子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの 該当ありません。

●その他の有価証券

(単位：百万円)

	種類	2019年9月期			2020年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	37,777	22,058	15,719	35,148	18,953	16,194
	債券	1,145,049	1,122,996	22,052	972,624	960,299	12,325
	うち国債	221,467	214,540	6,927	180,134	177,544	2,590
	うち地方債	411,025	403,778	7,247	376,799	371,618	5,180
	うち社債	512,556	504,678	7,878	415,690	411,136	4,554
	その他	211,883	206,735	5,148	197,964	191,094	6,870
	小計	1,394,710	1,351,790	42,920	1,205,738	1,170,347	35,390
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	19,303	21,781	△ 2,478	16,317	20,375	△ 4,057
	債券	36,345	36,695	△ 349	296,357	299,795	△ 3,438
	うち国債	20,597	20,751	△ 153	164,160	166,571	△ 2,411
	うち地方債	11,147	11,327	△ 179	41,455	42,026	△ 571
	うち社債	4,600	4,616	△ 15	90,741	91,197	△ 455
	その他	109,730	112,771	△ 3,041	129,660	133,200	△ 3,539
	小計	165,379	171,248	△ 5,869	442,335	453,370	△ 11,035
合計	1,560,090	1,523,038	37,051	1,648,073	1,623,718	24,355	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

預り資産残高の推移

(単位：百万円)

	2019年9月期	2020年9月期	増減
投資信託	49,746	46,067	△3,678
外貨預金(中信オープン外貨定期)	1,856	1,735	△120
公共債	11,398	10,329	△1,068
合計	63,001	58,133	△4,867

- (注) 1. 投資信託・外貨預金・公共債はそれぞれ期末の残高です。
 2. 投資信託は自己取引を含んでおりません。

貸出債権の開示

信用金庫では、金融再生法に基づく「金融再生法開示債権」と、信用金庫法に基づく「リスク管理債権」の開示が義務付けられています。金融再生法開示債権は債務保証見返など貸出金以外の債権も対象としているのに対し、リスク管理債権は貸出金のみを対象としているのが相違点です。

当金庫の金融再生法開示債権(正常債権を除く)に対する担保・保証・引当金を合わせた保全率は92.86%となっており、引き続き十分な引当水準となっています。十分な引当を行い経営の健全性を確保しつつ、地域の発展・支援に貢献することが当金庫の使命であると考えております。

I. 2020年9月期における自己査定と開示債権の状況(単体ベース)

(単位：億円)

自己査定					金融再生法による開示		リスク管理債権		
	総与信	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先	15	1	13	-	-	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	78	破綻先債権	14
実質破綻先	63	7	30	-	25			危険債権	646
破綻懸念先	583	277	227	77		要管理債権	99	3カ月以上延滞債権	-
要注意先	3,991	1,084	2,907					貸出条件緩和債権	99
正常先	24,549	24,549				小計	761	合計	761
合計					29,202	合計	29,220		

※ 上記開示額は、2020年9月末を基準日として自己査定を行い、この結果に基づき算出しています。

同年4月1日から9月末までに倒産・不渡り等、及び業況悪化により債務者区分の引下げがあった債務者についてすべて開示しています。

※ 上半期での必要償却・引当額は、9月末時点の債権残高にて算出しています。

ただし、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分(=Ⅳ分類)を直接償却し減額して開示しています。

(Ⅳ分類・直接償却相当額は5億円です。)

※ 「金融再生法による開示」には当金庫が保証する私募債の額を含んでいます。

II. 金融再生法による開示債権と保全の状況

(単位：億円)

区分	開示残高(A)	担保・保証による回収見込み額(B)	2020年9月期引当金残高(C)	担保・保証(B)+引当金(C)=保全額(D)	保全率(D)/(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	78	53	25	78	100.00%
危険債権	583	505	54	559	95.96%
要管理債権	99	61	7	69	69.18%
小計	761	620	86	707	92.86%
正常債権	28,458	22,811	41	22,853	80.30%
合計	29,220	23,431	128	23,560	80.63%

$$\text{金融再生法開示債権(正常債権を除く)保全率} = \frac{\text{保全額 } 707\text{億円}}{\text{債権額 } 761\text{億円}} = 92.86\%$$

※ 保全率は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

III. 2019年9月期との金融再生法開示債権比較

(単位：億円)

金融再生法による開示残高	2019年9月期	構成比	2020年9月期	構成比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	87	0.32%	78	0.27%
危険債権	566	2.10%	583	2.00%
要管理債権	39	0.15%	99	0.34%
小計	693	2.57%	761	2.61%
正常債権	26,294	97.43%	28,458	97.39%
合計	26,987	100.00%	29,220	100.00%

※ 構成比は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

自己資本比率の状況について〈単体〉

●単体自己資本比率(バーゼルⅢ国内基準)

2020年9月期の自己資本比率は、内部留保額を順調に積み上げたこと等から、前年同期比0.02ポイント上昇の10.80%となり、金融機関の健全性を示す基準となる水準(国内基準4%)を大きく上回っております。

(単位：百万円)

項目		2019年9月期	2020年9月期	増減	
コア資本に係る 基礎項目 (イ)	普通出資に係る会員勘定の額	257,573	266,365	8,791	
	うち、出資金の額	20,421	20,211	△ 209	
	うち、利益剰余金の額	237,151	246,153	9,001	
	一般貸倒引当金の額	4,445	4,908	463	
	土地再評価差額の45%相当額のうち、コア資本に係る 基礎項目の額に含まれる額	2,902	2,236	△ 665	
	(イ)	264,920	273,510	8,589	
コア資本に係る 調整項目 (ロ)	無形固定資産の額	2,012	2,391	378	
		(ロ)	2,012	2,391	378
自己資本の額 (ハ)		(イ)－(ロ)	262,907	271,118	8,210
リスク・アセット等 (ニ)	信用リスク・アセットの額	2,353,280	2,423,989	70,709	
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して 得た額	85,491	84,787	△ 704	
		(ニ)	2,438,771	2,508,776	70,005
単体自己資本比率	$\frac{(ハ)}{(ニ)}$	10.78%	10.80%	0.02%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

京都中央信用金庫 SDGs宣言

京都中央信用金庫は、地域社会の一員として

SDGsの目指す持続可能な社会に向けた取り組みに賛同し

当金庫の事業活動を通じてSDGsの達成に尽力します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



京都中央信用金庫の概要 (2020年9月30日現在)

本社所在地	京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地		
創立	1940(昭和15)年6月18日	会員数	233,497人
預金残高	5兆693億円	出資金	202億円
貸出金残高	2兆9,166億円	店舗数	131店舗
職員数	2,617人	店舗外ATM	181カ所

TEL (075) 223-2525(代) TEL 0120-201-959(フリーダイヤル 平日9:00~17:00 当金庫営業エリアのみ)
FAX 0120-201-580(フリーダイヤル) インターネットホームページアドレス <https://www.chushin.co.jp/>



この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。

2020年11月